

社会の
「いきいき」の
ために

社会貢献活動

「自然と社会と人間との調和」をめざし、環境教育や学生支援など、さまざまな社会貢献活動を推進しています。

動画募金を通じた寄付を実施

2014年2月にインターネット動画募金*を実施し、全国の棚田保全活動などを推進するNPO法人棚田ネットワークに335,055円、京都市ごみ減量推進会議に273,775円の寄付を行いました。

インターネット動画募金に際しては、当社が実施する環境教育活動、宝酒造「田んぼの学校」2013の様子(P.21-22参照)や宝酒造「エコの学校」2013の様子(P.24参照)をそれぞれ3分程度にまとめた動画を閲覧いただきました。

*動画閲覧者が、スポンサー企業の提供する動画を閲覧後募金ボタンをクリックすることによりスポンサー企業が選定した支援先団体に無料で寄付できる仕組みです。スポンサー企業はクリック数に応じた金額を支援先団体に寄付します。



インターンシップの実施

“ものづくり”を学ぶ職場体験の場を提供

職場体験を通じて企業活動や組織について理解を深め、自分の適性や能力に見合った職業を選択する意識を醸成してもらうことを目的に、大学生と大学院生を対象としたインターンシップを1998年から実施しています。2013年度は外国人留学生1名を含む8名を受け入れ、「商品企画のプロセスから“ものづくり”の考え方を学ぶ」をテーマに、商品コンセプトの設計や市場データの調査、試作品の製作などを体験していただきました。

実施年度	2009	2010	2011	2012	2013
インターンシップ 受け入れ人数	12	12	8	8	8

ベロタクシー協賛&新型ベロタクシー開発

ベロタクシーは、1997年にドイツの首都ベルリンで「環境にやさしい新しい交通システムと動く広告が一つになった乗り物」として開発された自転車タクシーです。日本での運行は、NPO法人ベロタクシー・ジャパンが京都でスタートさせました。

宝酒造では、気候変動問題の啓発として役立つベロタクシーに共感し、2002年の走行開始以来毎年協賛しています。

しかしながら、現行のベロタクシーの車体はドイツ製であるため、輸送費がかかり購入価格が高くなる、日本の道路事情からするとやや大きいなどの悩みがありました。そこで、当社の開発・協賛のもと、日本の事情にあった国産初のベロタクシー車両の開発をすすめました。



試作車の試乗会(第20回ハスフェスタin万博公園)



試作車の展示(京都カーフリーデー)

囲碁大会「宝酒造杯クラス別チャンピオン戦」開催

日本の伝統・文化を大切に伝承する宝酒造は、囲碁とお酒が楽しめる囲碁大会「宝酒造杯クラス別チャンピオン戦」を公益財団法人日本棋院と共同で開催しています。

「宝酒造杯」は初心者の方でも全国大会を目指せる、日本最大級のクラス別アマチュア大会で、クラス別に対局できることに加えて、試飲やクイズラリーなどのイベント、プロ棋士の指導碁、サイン会なども催される盛りだくさんの大会です。2013年度は9カ所10回の地方大会ならびに決勝の全国大会あわせて前年より約1,000人多いのべ6,612人の方にご参加いただきました。



「宝酒造杯」の様子

アースデイ東京・ロハスフェスタin万博公園に協賛

4月20日、21日の両日、代々木公園で開催された日本最大級の環境フェスティバル「アースデイ東京2013」に、また4月27日、28日及び11月2日～4日に万博公園で開催された「ロハスフェスタin万博公園」に協賛・出展しました。

多数のNPOやNGOのブースが立ち並ぶ中、宝酒造の展示ブースでは、焼酎のはかり売りやリサイクルが容易な「はずせるキャップ」、パウチパックの採用などの空容器問題への取り組み、宝酒造「田んぼの学校」やタカラ・ハーモニストファンドなどの自然保護活動への取り組みを紹介しました。



宝酒造の展示ブースの様子

宝酒造「田んぼの学校」が文部科学省の「青少年の体験活動推進企業表彰」で審査委員会特別賞を受賞

宝酒造が開催している社会・環境プログラム 宝酒造「田んぼの学校」が文部科学省の平成25年度「青少年の体験活動推進企業表彰」で審査委員会特別賞を受賞しました。

文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰」は「社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の機会の推進を図ること」を目的に始まったもので、今回が初めての表彰です。

表彰式は、「～とびだせ! キッズ!～ みんなで体験活動ワールド」(2014年2月1日～2日、東京都豊島区サンシャインシティ)期間中の2月1日(土)に同会場内で執り行われました。



青少年の体験活動推進企業表彰式

グループ会社の取り組み

大平印刷

カラーユニバーサルデザイン

大平印刷では、色弱の方をはじめ、あらゆる方に見分けやすい配色「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」を用いた、人にやさしい印刷物「ユニバーサルプリンティング」の普及に取り組んでいます。2013年度も、阪急電鉄(株)のサインデザインに採用されました。

チャリティペーパー

寄付金を含んだ印刷用紙「ワクチンペーパー」を日本紙パルプ商事株式会社と共同で開発し、2008年より「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」の活動を支援しています。2013年度は、20,326人分のワクチンを贈ることができました。同様の仕組みで、日本赤十字社には「赤十字ペーパー」、財団法人日本盲導犬協会には「盲導犬支援ペーパー」を活用することで、各団体の活動を支援しています。この緑字企業報告書も「赤十字ペーパー」を使用しています。